

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-No.1		調査位置									北緯	36° 58' 28.0000"			
発注機関	栃木県大田原土木事務所 道路部 道路保全課								調査期間	2008-07-17 ~ 2008-07-23				東経	139° 49' 01.0000"	
調査業者名									主任技師	現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者			
孔口標高	541.94 m	角度			地盤勾配			使用機種	試錐機				ハンマー 落下用具			
総掘進長	9.45 m							エンジン					ポンプ			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10	20					30	
				玉石混り砂礫 (GS-B)	黒褐 - 暗灰		非常に密な	粒径不均一な砂及び 20 - 40mmの亜円礫主体。コア長350mmの転石及び玉石が連続的に混る。礫種は、安山岩が主体。1.80m付近まで廻々シルト及び細砂が多く以深は、20 - 40mmの礫多く混入。2.40 - 2.50m間は転石点在。コア長300mm程度。		07/18 0.40	1.15	48 / 2	50 / 12	>50								
538.14	2.80	2.80		砂岩 (Ss)	黒灰		固結した	粒径不均一な砂と少量の粘土で構成。処々 2 - 10mm程度の角礫が混入する。固結しているがコアは、細粒化し土砂状となる。5.00m以深、泥質な固結シルトをシム上に挟む。塩原湖成層の砂岩・泥岩層と推察される。			2.15	50 / 9	50 / 9	>50								07/18
536.44	2.70	5.50		泥岩 (Ms)	暗灰		固結した	層理は水平方向で亀裂が多い。6.00 - 6.50m間砂質で、土砂状となる。コアは、長さ50mm以下の片状コアで採取され一部は、土砂状となる。			3.15	50 / 9	50 / 9	>50								07/21
534.94	1.50	7.00		砂岩 (Ss)	黒灰 - 暗灰		固結した	7.00 - 7.80m間、凝灰岩の転石 7.80m以深暗灰色を呈す。粒径不均一な砂と少量の粘土で構成されている。固結しているがコアは、細粒化し土砂状となる。			4.00	50 / 8	50 / 8	>50								
532.54	2.40	9.40		砂岩 (Ss)	黒灰 - 暗灰		固結した				5.00	50 / 7	50 / 7	>50								07/22
											6.00	50 / 3	50 / 3	>50								
											7.00	50 / 5	50 / 5	>50								
											8.15	14 / 16	20 / 8	50 / 28	>50							
											8.43				>50							
											9.15	15 / 20	15 / 5	50 / 25	>50							
											9.40				>50							